

第3章 計画の内容

基本目標1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり

施策（1）男女共同参画意識を高める広報・啓発の推進

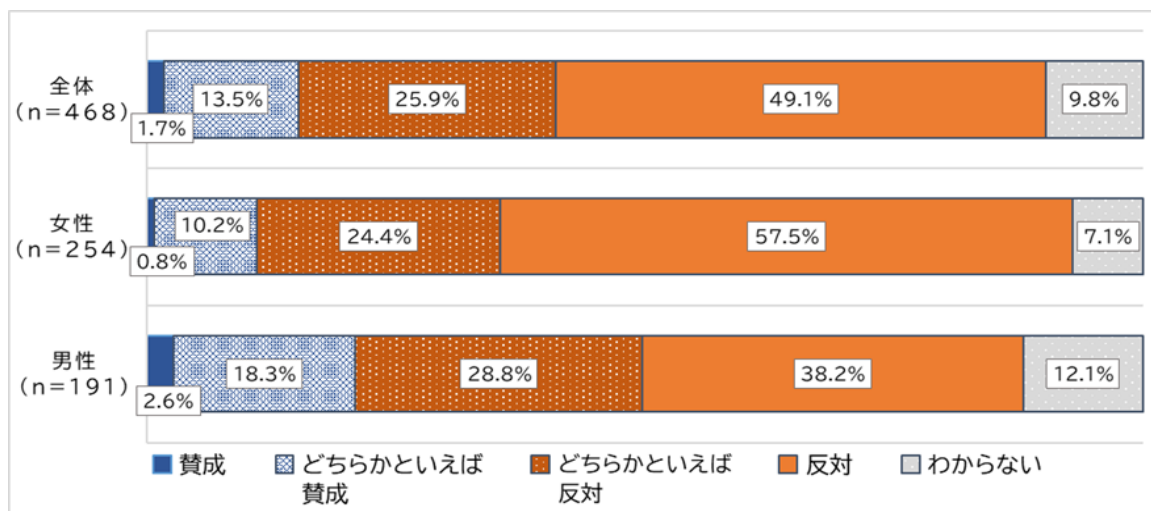
■現状と課題

第1章4でも触れていますが、「男性は仕事、女性は家庭」というような考え方について男女ともに約7割が「反対」「どちらかといえば反対」と考えています。しかし、「賛成」「どちらかといえば賛成」と考える人は約2割となり、特に男性が多いことから、いわゆる固定的な性別役割分担意識が残っていることがわかります（図3-1）。

誰もが自分らしくいきいきと生活するためには、性別などにかかわらず多様な生き方を認め、能力を十分に発揮できる社会となることです。そのためには、ジェンダー平等の視点に基づき、不平等感を解消することが大切です。

固定的な性別役割分担意識の解消に向けて広報・啓発活動などを行い、男女共同参画を進めることは男性にとっても女性にとっても暮らしやすくなる、という理解を浸透させる必要があります。

図3-1 「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべきである」という考え方について



資料：男女共同参画に関する市民アンケート（令和5年度）

■施策の方向

市民が男女共同参画の意義や必要性について正しく理解できるよう、男女共同参画の意識づくりのための広報・啓発を推進します。

また、あらゆる機会を活用し、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた意識啓発を行います。

■施策の内容

①男女共同参画に関する広報・啓発活動の推進

具体的施策	取組内容	担当課
男女共同参画に関する情報発信・啓発活動	男女共同参画への関心と理解を深めるため、広報やホームページなどによる情報発信、イベントの開催を通じた啓発活動を行います。	地域創生推進課

②固定的な性別役割分担意識の解消に向けた意識啓発

具体的施策	取組内容	担当課
固定的な性別役割分担意識解消のための意識啓発	家庭・学校・職場・地域などへ、学習機会の提供を行い、男女共同参画の推進を阻害する慣習やしきたりなどの解消を図ります。	地域創生推進課 工業振興課 商業観光課 農林水産課 教育総務課 生涯学習課



男女共同参画週間にあわせて実施した啓発展示

施策（２）男女平等・男女共同参画を推進する教育・学習の充実

■現状と課題

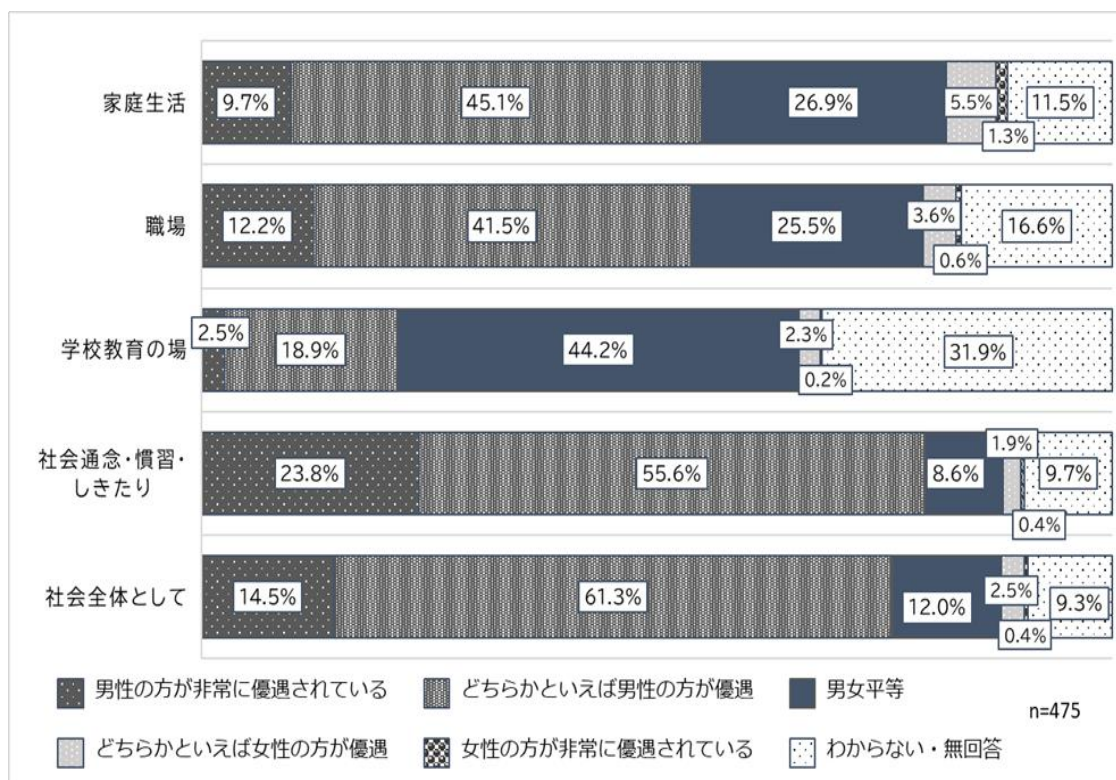
男女の地位の平等感について、「学校教育の場」では、「職場」や「家庭生活」、「社会通念・慣習・しきたり」、「社会全体」と比べると、男女平等が進んでいる様子が伺えます（図 3-2）。

固定的な性別役割分担意識にとらわれず、多様な生き方を選択でき、自分らしくいきいきと生活するためには、子どものころから男女共同参画・ジェンダー平等について学習し、理解を深めることが重要です。

また、学校教育だけでなく、家庭や地域社会が与える影響も大きいことから、子どもから大人まで生涯を通じた男女共同参画の視点に立った総合的な教育・学習の機会を提供する必要があります。

図 3-2 男女の役割や地位に関する意識について

（家庭生活、職場、学校教育の場、社会通念・慣習・しきたり、社会全体として）



資料：男女共同参画に関する市民アンケート（令和 5 年度）

■施策の方向

男女共同参画の視点に立った教育の充実を図ります。

また、家庭・職場・地域などさまざまな場において、男女共同参画の意識づくりのための教育や学習の機会を提供します。

■施策の内容

①男女共同参画の視点に立った教育の充実

具体的施策	取組内容	担当課
性別にかかわらない幼児期の教育・保育の推進	幼児期から、一人ひとりの人権を尊重し、その個性を伸ばす教育・保育を進めます。	子ども課
多様な選択を可能にする教育の推進	児童・生徒に男女共同参画・ジェンダー平等に関する理解を促し、一人ひとりの人権を尊重し、個性を伸ばしたキャリア形成*ができるよう教育の推進を図ります。	教育総務課
教職員・保育士などに対する意識啓発	男女共同参画・ジェンダー平等の視点に立った教育を推進するため、教職員、保育士などに対し、意識啓発活動を行います。	子ども課 教育総務課

②家庭・職場・地域における男女共同参画の学習機会の提供

具体的施策	取組内容	担当課
男女共同参画に関する講座など学習の支援	事業所・団体などが主催する講座や研修会に講師（アドバイザーなど）を派遣するなど、学習活動を支援します。	地域創生推進課 生涯学習課
男女共同参画に関する資料や情報の収集と提供	男女共同参画・ジェンダー平等などの推進を図るため、市民や団体へ情報の提供を行います。	地域創生推進課

施策（３）国際的視点に立った意識の浸透

■現状と課題

国際連合では 2015 年 9 月に、持続可能な開発のための 2030 アジェンダが採択され、「誰一人取り残さない」社会をめざして国際社会が一致して取り組んでいます。その持続可能な開発目標（SDGs）のひとつに「ジェンダー平等を実現しよう」が掲げられています。

男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めるには、国際的な動向を把握し、取り入れることが必要です。あわせて、国際交流や多文化共生に対する理解を深める機会の提供や在住・滞在外国人などに配慮した支援を行うことも大切です。

■施策の方向

ジェンダー平等の取組など国際的な動向を把握し、広く情報提供を行います。また、多文化共生社会の理解を浸透させるため、国際交流などを推進します。

■施策の内容

①情報収集および提供

具体的施策	取組内容	担当課
国際的な情報の提供	男女共同参画に関する国際連合の動きや先進国の状況などを収集し、広報やホームページなどで情報を提供します。	地域創生推進課

②多文化共生社会の推進

具体的施策	取組内容	担当課
国際理解と交流の推進	国際交流の場を提供し、多文化共生の理解と認識を深めることを推進します。	子ども課 教育総務課 生涯学習課
在住・滞在外国人に対する暮らしに関する情報提供	在住・滞在外国人の不安や悩みを解消するため、人権に配慮しながら暮らしに関する情報を提供するとともに、各種相談に適切に対応します。	地域創生推進課

基本目標２ あらゆる分野において男女がともに活躍できる 環境づくり

【岡谷市女性活躍推進計画】

施策（１）意思決定過程への女性の参画促進

■現状と課題

男女共同参画社会を実現するためには、家庭・仕事・地域などさまざまな場面において意思決定過程に男女がともに参画し、平等に意見を反映させることが重要です。

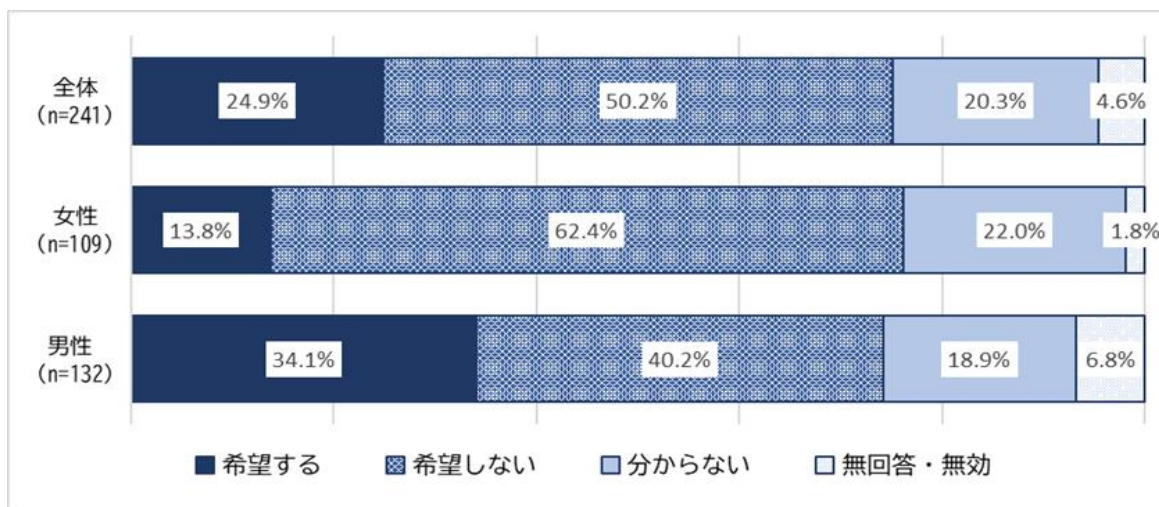
本市における各種審議会などへの女性参画は、35.2%と目標値の40.0%には届かない状況です（P5 図1-4）。

働く場の意識調査では、管理・監督職の女性比率は少しずつ上昇していますが、従業員への調査で管理職へ昇格を希望する人は24.9%にとどまり、特に女性の6割以上が仕事の責任が重くなることや自分の知識・経験・能力に自信がないことから、管理職として働くことを望んでいない結果となりました（図3-3）。

このことから、女性のキャリアに対する意識啓発のほか、役員になることを阻害する社会通念や慣行、固定的な性別役割分担意識、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を解消する必要があります。

あわせて、行政が女性登用の模範を示すとともに、あらゆる分野における女性参画の必要性について理解を深める取組が必要です。

図3-3 管理職（課長相当職以上）への昇格を希望するか（正社員）



資料：働く場の意識調査（令和4年度）

■施策の方向

審議会や委員会などへの女性の積極的参画を促進します。

また、女性の職域拡大や管理職などへの登用促進に向け、情報収集と啓発に努めます。

■施策の内容

①審議会などへの女性の積極的参画

具体的施策	取組内容	担当課
審議会などへの女性の積極的参画の促進	「岡谷市審議会等の設置及び運営に関する指針」において、女性を積極的に委員に登用することを規定していることから、政策・方針決定の場への女性の積極的な参画を促進します。	全課 地域創生推進課
女性のエンパワーメント*支援	政策・方針決定の場への女性の参画を推進するため、固定的な性別役割分担意識の解消、女性の意識啓発や能力向上のための講座などの情報を広く周知し、参加を促します。	地域創生推進課

②女性の職域拡大と管理・監督職への登用促進

具体的施策	取組内容	担当課
働く場における女性の職域拡大と管理職への登用啓発	働く場における女性の職域拡大と管理職への登用について情報収集し、啓発に努めます。	地域創生推進課 工業振興課
市役所における女性管理監督職への登用促進	岡谷市特定事業主行動計画に基づき、女性職員の管理職への登用を進めるため、女性職員の意欲や能力の向上を図り、管理監督者にふさわしい人材を育成します。	総務課

施策（２）男女がともに働きやすい環境整備と

ワーク・ライフ・バランスの実現

■現状と課題

本市における女性の労働力率*は、各年齢で全国よりも高い状況です。また、平成２７年に比べ令和２年の数値も上がっています。このことから、本市は女性の就労者が多いことがわかります（P21 図３-４、図３-５）。

市民アンケートでは、女性の就労のあり方について「結婚や出産にかかわらず、仕事を続けるほうがよい」と考える人の割合が多い中、働き続けるための課題としては「育児」や「労働環境」の回答が多く、継続的に仕事をするための環境整備は重要な課題といえます（P22 図３-６、図３-７）。

また、働く場の意識調査によると、理想ではバランスの取れた生活を求めている人が多い中、現実では仕事を優先している人が多く、男女共同参画社会実現のためには、仕事と家庭生活を両立させるための支援策の充実を望む声が多くありました（P6 図１-６）。

このほか、固定的な性別役割分担意識を背景に、男性中心の働き方が継続されていることなどにより、男性の家庭生活への参画が十分に得られず、家事や育児などに対する女性の負担が大きくなっています。

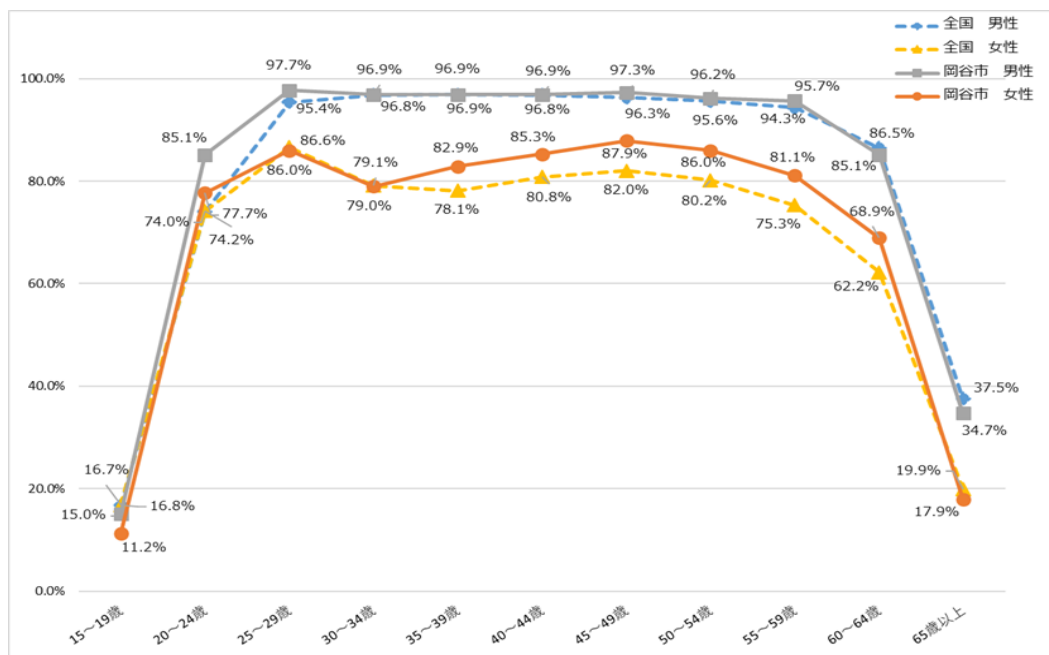
働く場において、女性がその個性と能力を十分発揮できる社会の実現のため、子育てや介護をしながら働く人への支援や、子育て後に再就職をめざす人への支援、男性の家庭生活への参画促進、企業へ向けた女性活躍に関する意識改革の推進など、誰もが多様な生き方を選択できるような取組が必要であります。

あわせて、ワーク・ライフ・バランスの実現を推進し、男女がともに働きやすい職場環境を整えることも大切です。



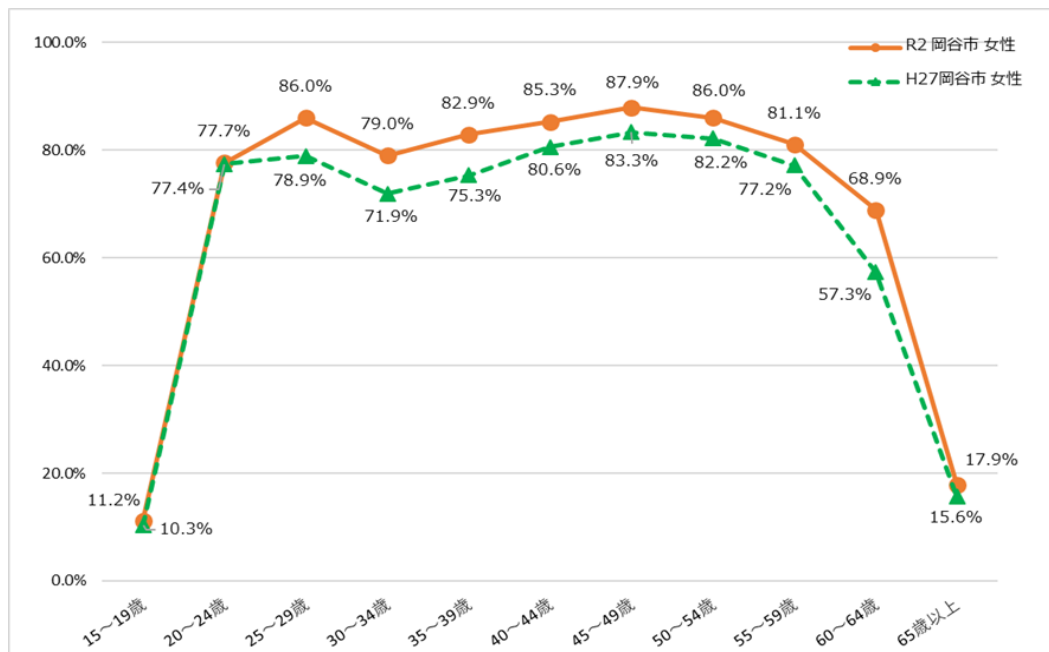
岡谷市で作成した「男女共同参画かるた」抜粋

図 3-4 年齢階層別労働力率（岡谷市と全国平均との比較）



資料：令和 2 年国勢調査結果を基に作成

図 3-5 年齢階層別労働力率（岡谷市女性の前回調査時との比較）



資料：平成 2 7 年、令和 2 年国勢調査結果を基に作成

結婚・育児期にある年齢層の女性労働力が低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという、いわゆる M 字カーブ*が描かれています。
全国に比べて本市の女性の労働力率は高い状況にあります。

図 3-6 女性の就労のあり方

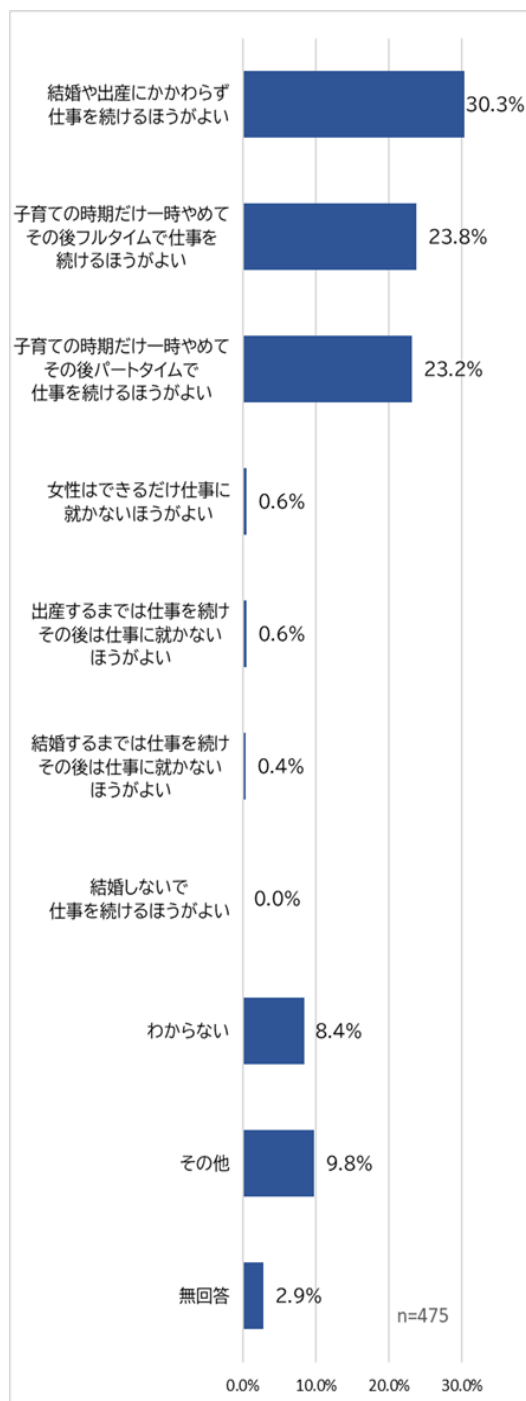
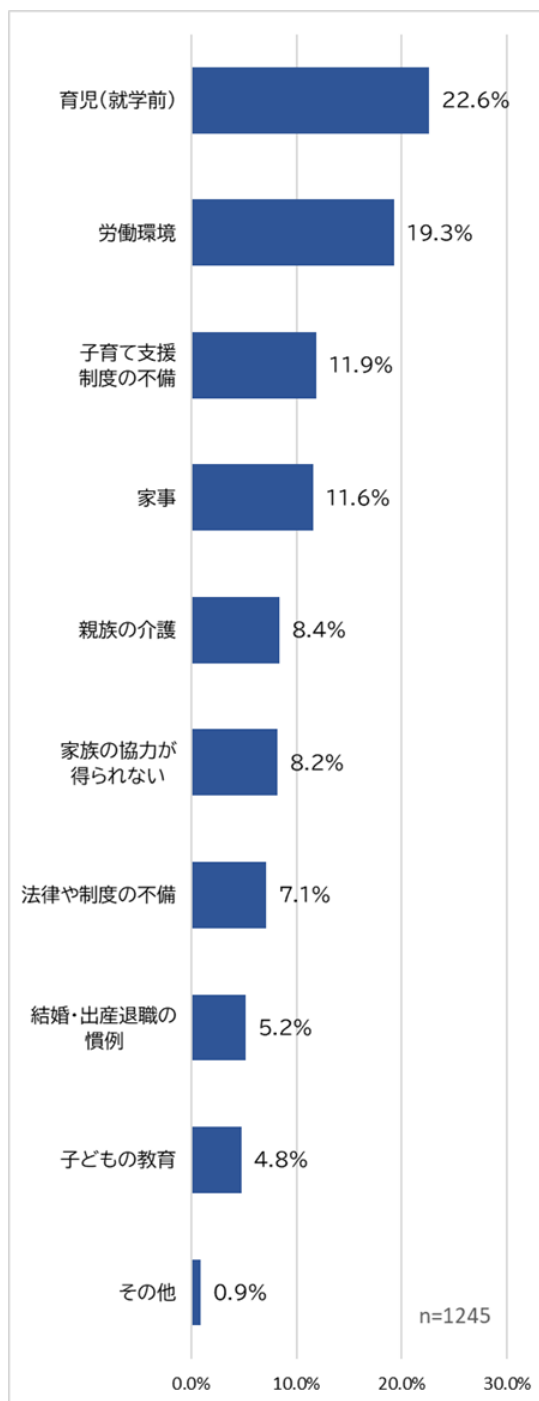


図 3-7 女性が働き続けるための課題



資料：男女共同参画に関する市民アンケート（令和5年度）

■施策の方向

女性が個性と能力を十分に発揮できる社会実現のための環境整備や、就労・キャリアアップ支援*などを行います。

また、多様な働き方への支援を充実させることに加え、ワーク・ライフ・バランスの実現のための啓発に取り組みます。

■施策の内容

①女性の創業・就労支援

具体的施策	取組内容	担当課
女性のチャレンジ活動への支援	県や商工会議所などと連携して、女性の視点やアイデアを活かした、女性のチャレンジ活動や創業を支援します。	工業振興課 商業観光課 農林水産課
女性の就労・キャリアアップ支援 および再就職支援	就労・キャリアアップのための支援および再就職支援セミナーなどの周知や情報提供を行うほか、ジョブカフェ*やハローワークなどと連携して相談窓口の充実を図り、就労支援を行います。	工業振興課 商業観光課

②女性が活躍するための環境整備

具体的施策	取組内容	担当課
市内企業の働きやすい環境整備の促進	市内企業の働きやすい環境整備を促進し、県が取り組む各種認証などを推奨しながら周知・啓発を行うとともに、雇用形態にかかわらず、働きやすい労働環境の改善に取り組む事業所の支援に努めます。	地域創生推進課 工業振興課 商業観光課
「育児・介護休業法」などの周知・啓発	「育児・介護休業法」や「男女雇用機会均等法*」などの周知や啓発を行い、働き続けたい女性への支援を行います。	工業振興課 商業観光課

③多様な働き方への支援

具体的施策	取組内容	担当課
仕事と子育ての 両立支援の充実	働き方の多様化にともない、保育サービスや学童クラブなどの子育て支援サービスの充実を図ります。また、子育て支援制度の周知に取り組みます。	子ども課 教育総務課
仕事と介護の 両立支援の充実	介護に関する講座などの開催や相談窓口などの充実を図ります。また、「介護保険なんでも読本（岡谷版※毎年改定）」を活用し、職員出前講座、各種研修などで介護保険制度についてわかりやすい情報を提供します。	介護福祉課
柔軟で多様な 働き方への支援	生活環境の変化に合わせた柔軟で多様な働き方を支援するため、事業所などへ周知、情報の提供を行います。	工業振興課 商業観光課

④ワーク・ライフ・バランスの推進

具体的施策	取組内容	担当課
ワーク・ライフ・ バランスの普及 啓発	安心して働き続けられるよう、ワーク・ライフ・バランスの普及に向けて、市民や事業所に対する情報提供、セミナーなどを通じた学習機会の提供、あわせて周知や啓発を図ります。	地域創生推進課 工業振興課 商業観光課
男性の家事・育 児・介護などへ の参画促進	男性の家事・育児・介護などへの参画を促進するため、家庭生活で役立つセミナーやイベントを開催するなど、学習機会を提供します。	地域創生推進課 介護福祉課 子ども課 健康推進課 生涯学習課

施策（３）地域における男女共同参画の推進

■現状と課題

家庭や仕事と同じように、地域社会は人々にとって身近な居場所であるとともに影響を受ける場所でもあります。区や団体などへの加入率の低下や役員の高齢化による手不足など、さまざまな問題を抱えています。

市民アンケートでは、「地域活動」での男女の平等感については約４割が男性優遇と感じている結果となりました（図３-８）。また、「防災や災害時での活動は男性だけで行っているか」との問いには、約５割が「そうではない」と回答しています（図３-９）。

市と市民が協働でまちづくりを推進するうえで、女性もまちづくりの担い手として地域活動などに積極的に参加し、女性の視点を取り入れた地域活動を展開することは重要です。また、災害への対応では、男女の役割を固定せず、ともに活動できる環境づくりが重要です。

男女共同参画の視点を踏まえた地域活動や防災活動ができるよう、活動の担い手の育成や、男女共同参画の必要性などの理解を深める必要があります。

図３-８ 男女の役割や地位に関する意識について（地域活動）

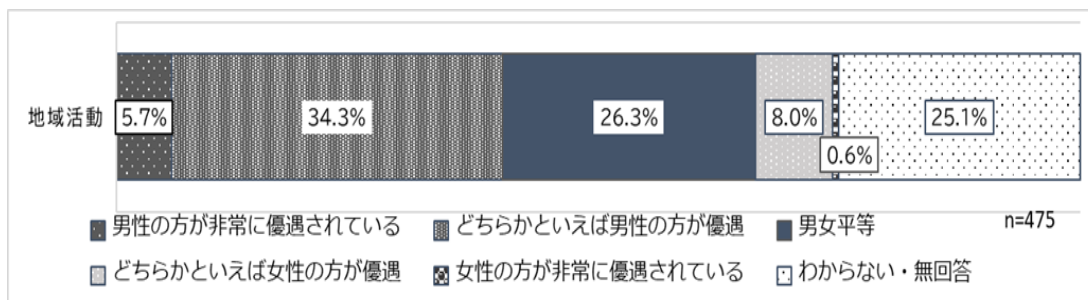
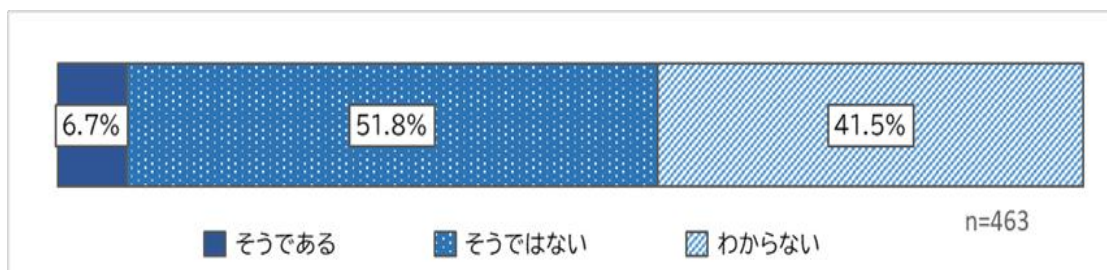


図３-９ 防災や災害時での活動は男性だけで行っていると思うか



資料：男女共同参画に関する市民アンケート（令和５年度）

■施策の方向

地域における慣習やしきたりによる固定的な性別役割分担意識の解消に向けた意識啓発を行い、方針決定の場への女性の参画を促進します。

また、男女共同参画の視点を反映した防災活動を推進し、男女がともに協力した避難所運営となるための支援を行います。

地域防災活動への女性の参画を働きかけ、地域住民への消防団活動に対する理解を深めます。

■施策の内容

①地域活動における女性の参画促進

具体的施策	取組内容	担当課
地域活動における女性参画の促進	地域における、方針決定の場への女性の参画を促進するための働きかけを行います。	地域創生推進課 秘書広報課
男女がともに担う地域活動への啓発推進	地域における、慣習やしきたりによる固定的な性別役割分担意識の解消を図り、男女がともに地域活動を担えるよう、意識啓発や情報提供を行います。	地域創生推進課 秘書広報課

②防災・減災活動における男女共同参画の推進

具体的施策	取組内容	担当課
男女共同参画の視点を反映した防災活動の推進	男女共同参画の視点を反映した防災・減災活動を行うため、男女共同参画の視点を取り入れた各種マニュアルを作成し、防災訓練への参加を呼びかけます。 あわせて、地域におけるジェンダーバランス*に配慮した避難所運営のため、女性の参画を推進します。	危機管理室
地域の防災活動への女性参画の促進	消防団や自主防災組織における女性の参画を働きかけ、地域住民への消防団活動に対する理解を深めます。	危機管理室 消防課

基本目標3 誰もが安全で安心して暮らせる社会づくり

【岡谷市困難女性支援基本計画】

施策（１）あらゆる暴力の予防および根絶【岡谷市DV防止基本計画】

■現状と課題

DVやハラスメントなどは、人権を侵害し、男女共同参画の推進を阻害する重大な問題です。これらの背景には、性別による偏見や差別が意識の中だけでなく無意識の中に根強く残る慣習やしきたり、経済力の格差などの社会構造が潜んでいます。

市民アンケートでは、DVの被害経験について「直接経験をしたことがある」、「相談を受けたことがある」、または「当事者を知っている」との回答が2割を超えています（P7 図1-8）。

また、パートナー間の暴力だけでなく、高齢者や子どもへの虐待なども問題となっています。近年ではSNS*などの広がりにともない、有害情報や誹謗中傷など暴力の種類も多様化しています。

そのような中、DVを受けたときの相談先として家族や親せき、友人などへの相談が多い状況ですが、誰にも相談できない人も一定数いることから、相談支援体制の充実と安心して相談できる相談窓口の周知徹底が必要です（P7 図1-9）。

このほか、職場や日常生活の中での言動などによって他の人に不利益や精神的なダメージを与えるハラスメントが増加しています。

市民アンケートでは、男女の人権が尊重されていないと感じることとして、さまざまなハラスメントが上位を占めています（P28 図3-10）。多種多様なハラスメントに関する正しい理解と防止に向けた取組が必要です。

「女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク」

このシンボルマークは、女性が腕をクロスさせた姿を描いており、女性の表情、握りしめたこぶし、クロスさせた腕により、女性に対する暴力を断固として拒絶する強い意思を表しています。

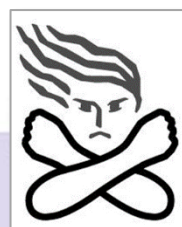
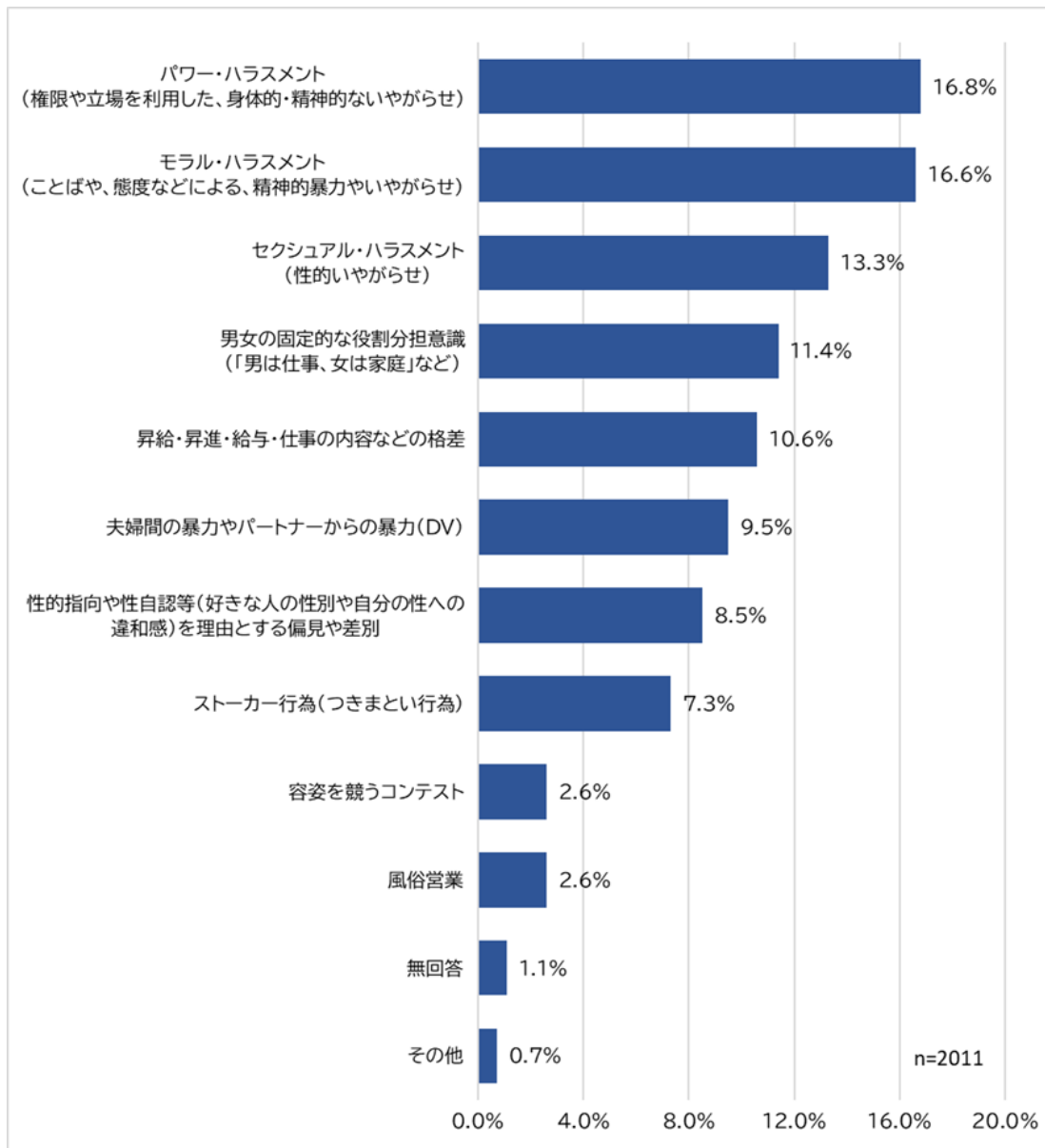


図 3-10 男女の人権が尊重されていないと感じること



資料：男女共同参画に関する市民アンケート（令和5年度）

■施策の方向

あらゆる暴力の予防・根絶に向けて啓発活動を行うとともに、関係機関との連携を図りながら相談体制を充実させます。

また、多種多様なハラスメントについて正しい理解と防止に向けた意識の醸成を図ります。

■施策の内容

①DV・性暴力などへの対策の推進

具体的施策	取組内容	担当課
あらゆる暴力根絶に向けた啓発活動	DV・性暴力などあらゆる暴力の根絶に向けて、啓発活動を行います。また、正しく理解するための学習会などを提供します。	地域創生推進課 社会福祉課 介護福祉課 子ども課 教育総務課
あらゆる暴力への相談体制の充実	DVなどの相談に対応するため、相談員のスキルの向上を図り、相談機能の充実を図ります。 また、状況に応じた対応が迅速に行うことができるよう、関係機関との連携を図ります。	社会福祉課 介護福祉課 子ども課 教育総務課

②各種ハラスメント防止に向けた啓発の推進

具体的施策	取組内容	担当課
各種ハラスメント防止に向けた啓発推進	セクシュアルハラスメント*やマタニティハラスメント*などの各種ハラスメントの防止に向け、事業所などに情報提供を行い、意識啓発します。	地域創生推進課 工業振興課 商業観光課

③若年層に対する予防啓発の推進

具体的施策	取組内容	担当課
デートDV*防止教育の推進	若年層に対して、デートDVなどに関する学習の機会を提供し、啓発活動を行います。	地域創生推進課 教育総務課 生涯学習課
有害環境*の改善	有害環境の改善のための浄化活動を支援するとともに、SNSなどによるいじめや犯罪被害の根絶に向け、関係機関との情報共有や連携を図ります。	生涯学習課

施策（２）安心して暮らすための相談・支援体制の整備

■現状と課題

女性をめぐる課題は、性的な被害に加えて生活困窮や家庭の状況、地域社会との関係性など、さまざまな問題が複雑に絡み合い複合化していることから、安心して生活できる環境整備が重要です。

複合的な問題に対応できるよう、庁内関係機関などと連携を強化する必要があります。あわせて、相談することに躊躇してしまうことのないよう、相談先などを広く周知し、誰もが安心して相談できる体制とすることも大切です。

また、ひとり親家庭では、生計を維持し家事や育児と両立していくことは、大きな負担となっています。特にひとり親へのアンケートでは、家計状況や仕事などに困っており、経済的支援を期待する回答が多くを占めています（図 3-11、図 3-12）。

そのため、自立して安定した生活を送るための支援が必要です。

図 3-11 日常生活で継続的に困っていること

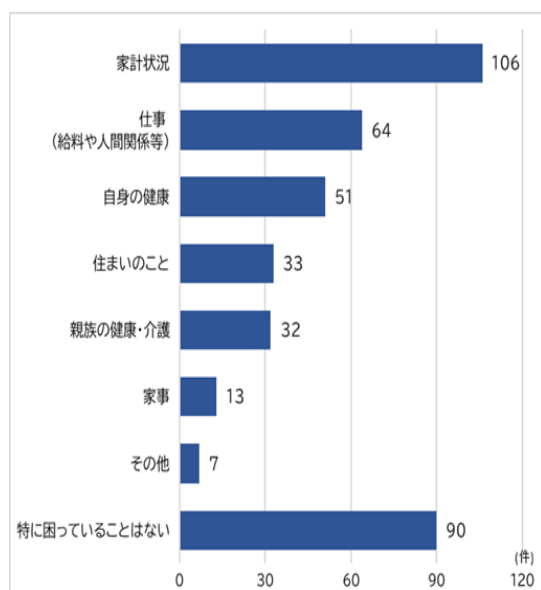
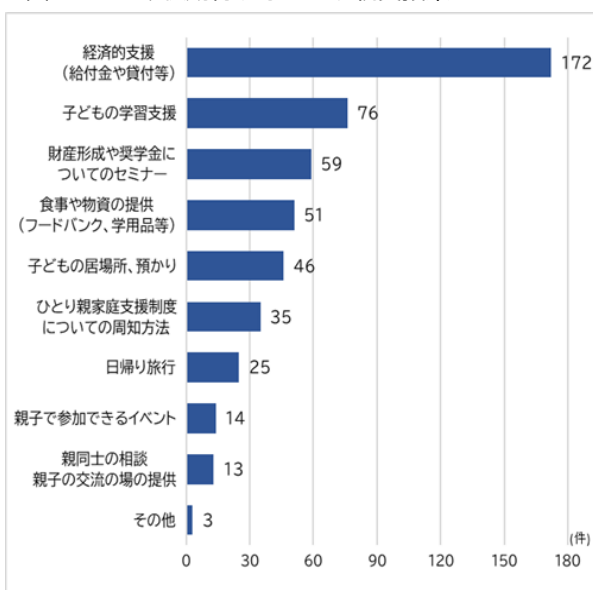


図 3-12 今後期待するひとり親支援策



資料：社会福祉課調べ

■施策の方向

困難を抱えた女性への支援の充実を図ります。

また、どこに相談していいのかわからないことがないよう、相談窓口の周知に努めます。

ひとり親家庭が自立した生活が送れるよう、支援の充実を図ります。

■施策の内容

①困難を抱えた女性への支援

具体的施策	取組内容	担当課
困難を抱えた女性への支援の充実	複雑化、複合化する課題に対応できる相談支援体制を構築し、困難を抱える女性への支援を充実させます。 また、庁内関係機関や民間支援団体と重層的に支援ができるよう連携などを強化します。	社会福祉課
相談窓口の周知	困難を抱えた女性がどこに相談していいのかわからないことのないよう、窓口の連絡先や相談方法などの情報を広く周知し、誰もが相談しやすい体制とします。	社会福祉課

②ひとり親家庭への支援の充実

具体的施策	取組内容	担当課
ひとり親家庭に対する経済的支援	ひとり親家庭の生活の安定と自立促進、健康保持を図るため、児童扶養手当の支給や医療費助成などの経済的支援を行います。	社会福祉課 医療保険課
ひとり親家庭の自立・就労支援	ひとり親家庭の就労を支援するため、関係機関と連携し、必要な知識や資格の修得への支援を行います。 また、母子・父子自立支援員により就労に関する相談など、自立支援を行います。 民生児童委員による見守り活動を実施し、経済的な理由などで孤立する人の把握に努め、必要に応じて行政や関係機関につなぐなど、自立した日常生活を営むための支援を行います。	社会福祉課

施策（３）生涯を通じた健康支援

■現状と課題

自身の生活において、健康のことに不安を抱いている人は少なくありません（図３-13）。

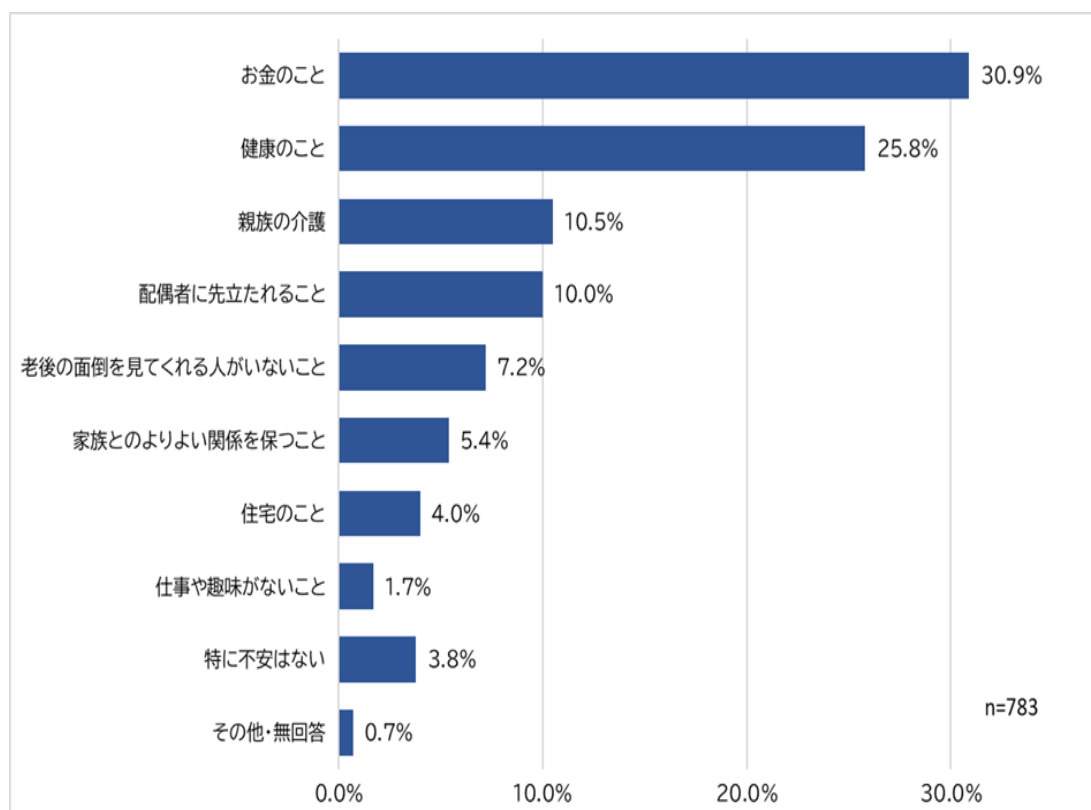
男女共同参画社会を実現するためには、男女がいいきと心豊かに充実した人生を送れるよう、生涯を通じて心身ともに健康であることが大切です。

このためにも、男女がそれぞれの身体の特徴を理解し、互いに思いやりを持って健康を維持することが重要です。特に女性は、年代に応じて大きく変化するという特性があることから、適切なサポートが必要です。

また、ストレスなどによる心身の不調や自殺者の増加、ひきこもりなどが社会問題となっていることから、生きがいづくりの場を充実させ、積極的な社会参加への支援が求められています。

ライフステージに応じた健康課題について正しく理解し、健康管理ができるよう、生涯を通じた健康支援に取り組む必要があります。

図３-13 自身の生活について不安なこと



資料：男女共同参画に関する市民アンケート（令和５年度）

■施策の方向

男女それぞれの身体の特徴を理解し、ライフステージに応じて包括的に支援を行い、自己管理意識を高めます。

妊娠・出産を希望する人が安心して子どもを産み育てることができるよう、切れ目ない支援を行います。

また、高齢者や障がい者がいきいきと生活できるよう、社会参加への支援を行います。

■施策の内容

①ライフステージに応じた健康の包括的支援

具体的施策	取組内容	担当課
生涯を通じた健康づくりの推進	ライフステージに応じた健康相談体制を充実させるとともに、講演会やイベントを通して正しい健康について理解を深め、心身の健康づくりを支援します。	健康推進課
各種健診事業の充実と受診率の向上	妊産婦健診、がん検診、特定健診、その他ライフステージに応じた健診体制の充実を図ります。	医療保険課 健康推進課
発達段階に合わせた教育の推進	学習指導要領に基づき、発達段階に合わせた男女の差の理解などを深めるほか、ジェンダー平等や多様性に配慮した教育を推進します。	教育総務課



②妊娠・出産・育児に関する支援の充実

具体的施策	取組内容	担当課
妊産婦に対する健康支援、相談体制の充実	安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から妊産婦に寄り添い、出産・子育て期まで身近で一貫して相談に応じながら必要な支援につなぐ伴走型相談支援*を行います。 また、ライフステージに応じた女性の健康づくりの情報提供を図ります。	健康推進課
子育ての包括的支援	両親、特に母親の育児不安を軽減するため、訪問指導、乳幼児健診、育児相談、子育て支援サービスなどを充実させ、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行います。	子ども課 健康推進課 教育総務課

③高齢者・障がい者の社会参画の支援

具体的施策	取組内容	担当課
高齢者や障がい者の社会参加の支援	地域社会で高齢者・障がい者がいきいきと生活できるよう、介護予防などの健康支援、交流の場に加え、就労情報の提供や支援を行います。	社会福祉課 介護福祉課 スポーツ振興課
高齢者や障がい者にやさしい生活環境の推進	高齢者・障がい者の安全・安心な生活環境の確保、社会的自立および社会参画を推進するため、各種公共施設や道路、住宅などの整備やバリアフリー化*を推進します。	企画課 社会福祉課 介護福祉課 都市計画課

施策（４）多様な性を認め合える社会の実現

■現状と課題

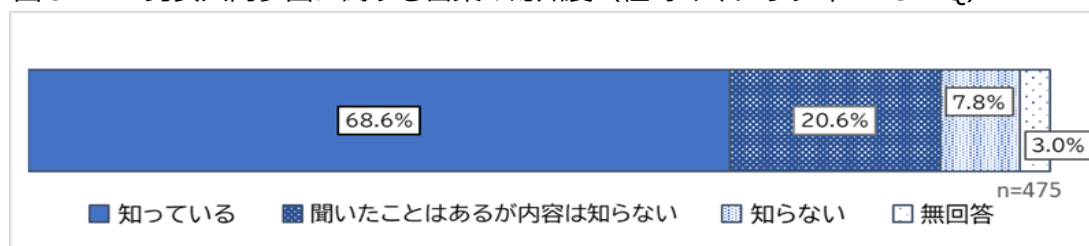
私たちは、異なる特徴や特性を持ちながら、多くの人や社会とかわかり、生活しています。このような多様性の広がりとともに、LGBTQ*や性的マイノリティ*という言葉の認知が急速に高まりつつあります。

市民アンケートでは、約９割の人が「知っている」「聞いたことはある」と回答していますが、そのうち約２割は「内容までは知らない」と回答しており、十分な理解がされていない状況です（図３-14）。

LGBTQ などの性的マイノリティであることで、偏見や差別から生きづらさを感じ、孤独に陥ってしまう人もいます。

誰もが安心して自分らしく暮らせるよう、多様な性について理解を深める必要があります。

図３-14 男女共同参画に関する言葉の認知度（性的マイノリティ・LGBTQ）



資料：男女共同参画に関する市民アンケート（令和５年度）

■施策の方向

多様な性について、理解を深めるための情報提供を行います。

■施策の内容

①多様な性に関する理解促進

具体的施策	取組内容	担当課
多様な性に関する理解を深めるための啓発	性的指向*、性自認*などの多様な性に関する理解を深めるため、情報提供を行います。	地域創生推進課
長野県パートナーシップ届出制度*の周知	長野県パートナーシップ届出制度および利用可能な行政サービスの周知を行います。	地域創生推進課